

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公開番号】特開2019-55296(P2019-55296A)

【公開日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2019-014

【出願番号】特願2019-867(P2019-867)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月16日(2020.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抽選遊技の進行に応じて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れる  
と遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

前記表示演出の進展に応じて各種の遊技音を出力させることができ可能な音出力手段と、

前記図柄変動の実行期間中、複数の遊技音が出力状態にあるとき、それら遊技音のうち少なくとも一部の遊技音の音量を低下させ、該音量が低下されている状態で特定遊技音の出力が終了されうる特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記特定演出実行手段によって前記特定遊技音の出力が終了された後、前記特定演出の前後に跨る期間にわたってチャンネルへの割り当てが継続されている別の遊技音の音量を低下状態から通常状態へと復帰させる音量復帰調整手段と、

前記特定演出実行手段によって前記特定遊技音の出力が終了されてから前記図柄変動の実行期間が終了するまでの間に、所定の演出条件が満たされていることを条件に、前記音量復帰調整手段によって音量が通常状態へと復帰される前記別の遊技音とは異なる特別遊技音を出力させる特別遊技音割当手段と

を備え、

前記特定遊技音は、

前記別の遊技音が前記特定演出の前後に跨ってチャンネルに割り当てられている状態にあるなかでその出力の開始と終了とがそれぞれ行われうるようになっており、

前記特定演出実行手段は、前記複数の遊技音のうち少なくとも一部の遊技音の音量を特定値まで低下させるものであり、該音量が特定値まで低下されてから所定時間が経過した後に前記特定遊技音の出力が終了される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0008】

手段1：抽選遊技の進行に応じて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

前記表示演出の進展に応じて各種の遊技音を出力させることが可能な音出力手段と、

前記図柄変動の実行期間中、複数の遊技音が出力状態にあるとき、それら遊技音のうち少なくとも一部の遊技音の音量を低下させ、該音量が低下されている状態で特定遊技音の出力が終了されうる特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記特定演出実行手段によって前記特定遊技音の出力が終了された後、前記特定演出の前後に跨る期間にわたってチャンネルへの割り当てが継続されている別の遊技音の音量を低下状態から通常状態へと復帰させる音量復帰調整手段と、

前記特定演出実行手段によって前記特定遊技音の出力が終了されてから前記図柄変動の実行期間が終了するまでの間に、所定の演出条件が満たされていることを条件に、前記音量復帰調整手段によって音量が通常状態へと復帰される前記別の遊技音とは異なる特別遊技音を出力させる特別遊技音割当手段と

を備え、

前記特定遊技音は、

前記別の遊技音が前記特定演出の前後に跨ってチャンネルに割り当てられている状態にあるなかでその出力の開始と終了とがそれぞれ行われうるようになっており、

前記特定演出実行手段は、前記複数の遊技音のうち少なくとも一部の遊技音の音量を特定値まで低下させるものであり、該音量が特定値まで低下されてから所定時間が経過した後に前記特定遊技音の出力が終了される

ことを特徴とする遊技機。